



バスに貼られたボランティアの皆さんからのメッセージ

●ボランティアバスの合同運行

第1回	4月19~23日	大阪市社協運行
第2回	4月25~29日	大阪府社協運行
第3回	5月10~14日	堺市社協運行
支援先	宮城県石巻市	



泥で真っ黒になつた床をきれいに



庭の汚泥を手でかき出します

着いてくると「髪を切つてほしい」というご近所からの依頼があり、店の再開をあきらめかけていたSさんご夫婦ですが、「長年、店に通つてくれたお礼にボランティアで散髪」することを思い立ちました。奇跡的に鏡と洗髪台が破損せずに残ったことも、Sさんの決心を後押ししたようです。

そんなご夫婦の思いを知ったボランティアたちは、精力的に店内のがれきを除去し、傷んだ天井部分も修理。洗髪台をいいねいに井戸水で洗うなどの作業を手伝いました。翌日、ボラン

ティアが再び訪ねると、「畠田、以前から頼まれていたお客さんとの散髪をしたら、それは喜んでくれました。これも皆さんのおかげです」と奥さん。

「どう」「今日もみんなが来てくれると思うと、朝起きるのも何だか張り合いで出てね。いつも終わるかわからないうちづけを父ちゃんとふたりだけでやるのは辛いもんだから…」とも話されます。最終日は他の班も加わつて片づけましたが、やり残したことが多く、心残りな結果になってしましました。「にもかかわらず、帰り際、奥さんは涙ぐみながら、何度もお礼を言ってくださいました。

また、こんなこともありました。Fさん宅でボランティアが泥だし作業をしていました。Fさんが突然、「あっ、生きてた！ 生きていた！」と声をあげました。見ると一匹のハムスターが押入れの物陰から顔を出していました。それは「マック」と名づけられたFさんのお子さんが可愛がっていたペットでした。どこを探してもみつからず、あきらめていたというFさん。「早く避難所に帰つて子どもに見せてやりたい。マックを見たらどんなに喜ぶことか」と、声を弾めます。震災から48日。「よく今まで生き延びた！」「すごい生命力！」と、自然と拍手が沸き起ります。なかには感激のあまり思わず涙ぐむ人もいて、予期しない嬉しいできごととなりました。

2日間の懸命の作業で
四十九日の法要を実現

震災で50人もの檀家の方が亡くなり、寺も大きな被害を受けたのが湊町にある松巖寺。「四十九日の法要を何とか寺で行いたい」と、境内の片づけの依頼があり、2つの班が合同で活動にあたりました。けれど、四十九日にあたる4月28日までは2日しかありません。「はたして自分たちにできるか不安だった」と岡野和行さん。それでも、みんなで力を合わせた結果、法要は無事に行われ、住職をはじめ寺の皆さんから何度もお礼を言つていただきました。

「初対面の人間同士でも、役に立ちたいとの思いから一致協力して懸命に活動する。普段の生活では得がたい経験で、私も自然と力が湧いてきました」と岡野さん。それは多くのボランティアが感じたことでもありました。「若い人がこれほど懸命に働くとは、驚きです。今どきの若者は…と批判するのはやめにしようと思いましたよ」と最年長の吉岡眞吾さん。そして、「消防士の私でさえ、みんなの働きぶりには脱帽した」と話すのは片岡創さん。「だれかのために、ここまでできる！ 復興はきっと早い」とまで感じたそうです。

「を出してほしい」、「またボランティアに来ます」、「石巻が早く元気を取り戻し、遊びに行ける町になつてほしい」と、さまざま意見が出されました。

短い期間だったにもかかわらず、多くのことを体験し、考え、悩んだボランティアの皆さん。「大阪へ帰つたら、より多くの人にこの体験を伝えて、支援の輪を広げていきたい」という声に、みんなが大きくなづいていました。

A group of approximately 30 people, mostly women, are posing for a group photo in front of a white bus. The bus has the word "PERFORMANCE" written on its side in large green letters. The group is arranged in three rows: a back row standing on the bus, a middle row kneeling in front of the bus, and a front row sitting on the ground. They are all dressed in outdoor gear, including various types of hats (hard hats, bucket hats, baseball caps), jackets (pink, purple, green, brown), and backpacks. Some individuals are holding items like a blue bag, a bottle, and a small white ball. The setting appears to be a parking lot or a roadside, with a grassy hill visible in the background.

大半の人がボランティアは初体験。元気で3日間の活動を終えました